

# 令和4年度 理工学部 総合型選抜 学生募集要項

【理工学部総合型選抜Ⅰ（出願資格A）】 ※理工学部総合型選抜Ⅰ（出願資格B）との併願不可

項目	月 日
出願書類等受付期間	令和3年9月1日(水)～9月7日(火) 必着
選 抜 期 日	令和3年10月2日(土)
合 格 発 表 日	令和3年11月1日(月)
入 学 手 続 期 間	令和3年11月11日(木)～11月17日(水) 必着

【理工学部総合型選抜Ⅰ（出願資格B）】 ※理工学部総合型選抜Ⅰ（出願資格A）との併願不可

項目	月 日
出願書類等受付期間	令和3年9月1日(水)～9月7日(火) 必着
選 抜 期 日	令和3年10月2日(土)
合 格 発 表 日	令和3年11月1日(月)
入 学 手 続 期 間	令和3年11月11日(木)～11月17日(水) 必着

【理工学部総合型選抜Ⅱ】

項目	月 日
出願書類等受付期間	令和3年12月15日(水)～12月21日(火) 必着
選 抜 期 日	令和4年1月21日(金)
合 格 発 表 日	令和4年2月10日(木)
入 学 手 続 期 間	令和4年2月17日(木)～2月18日(金) 必着

## 秋 田 大 学

新型コロナウイルスの感染状況によっては、募集要項に記載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を実施する場合がありますので、秋田大学のウェブサイトで定期的に最新の情報を確認してください。

## 入学志願者の個人情報保護について

本学では、提出された出願書類から志願者の個人情報を取得し、また、入学試験の実施により受験者の個人情報を取得しますが、これらの個人情報は、下記の目的で利用します。

### 【利用目的】

- 入学者選抜に関する業務（統計処理などの付随する業務を含む。）に利用します。
- 入学手続完了者にとっては、入学後の学籍管理、学習指導、学生支援関係業務および授業料徴収業務に利用します。
- 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うために、総合型選抜の合格および入学手続等に関する個人情報（氏名、高等学校等コードおよび大学入学共通テストの受験番号に限る。）を、大学入試センターおよび併願先の国公立大学に通知します。

# 目 次

理工学部および各学科・コースの概要と入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
理工学部総合型選抜による選抜方法等	10
【理工学部総合型選抜Ⅰ（出願資格A）】	10
1. 募集コースおよび募集人員	10
2. 出願資格	10
3. 出願手続	11
4. 選抜方法	12
5. 合格者の発表	13
6. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	13
7. 入学手続	14
8. 個人の試験成績の開示	14
9. その他	14
10. 理工学部総合型選抜に関する問合せ先	14
【理工学部総合型選抜Ⅰ（出願資格B）】	15
1. 募集コースおよび募集人員	15
2. 出願資格	15
3. 出願手続	16
4. 選抜方法	17
5. 合格者の発表	18
6. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	18
7. 入学手続	19
8. 個人の試験成績の開示	19
9. その他	19
10. 理工学部総合型選抜に関する問合せ先	19
【理工学部総合型選抜Ⅱ】	20
1. 募集コースおよび募集人員	20
2. 出願資格	20
3. 出願手続	21
4. 選抜方法	22
5. 合格者の発表	23
6. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	23
7. 入学手続	24
8. 個人の試験成績の開示	24
9. その他	24
10. 理工学部総合型選抜に関する問合せ先	24
検定料の免除について	25
秋田大学学生寮について	25
令和4年度秋田大学理工学部総合型選抜Ⅰ（出願資格A）・総合型選抜Ⅱ「個別の入学資格審査」について	26

添付書類等（理工学部総合型選抜Ⅰ（出願資格A・B）、総合型選抜Ⅱの別に綴じ込み）

# 理工学部および各学科・コースの概要と入学者受入方針 (アドミッション・ポリシー)

## (1) 理工学部の理念・目的

理工学部は、世界的ニーズが明確で発展の著しい、理学と工学が融合した理工学を教育研究分野の中心に据え、さらに理学・数学から工学に至る幅広い教育学問分野を包括する地域の教育拠点を構築します。学部教育において、理系基礎科目の理解増進による論理的に考える力に加えて、英語と実践教育科目の強化により、グローバル社会で即戦力として活躍する人材を育成することが理工学部の理念です。これにより理学・数学から理工学、工学の多面的な学問分野で、身につけた深い基礎学力と新しい発想によって新時代の諸課題にたくましく取り組む人材を育成することを目的とします。

## (2) 各学科・コースの概要

### 【生命科学科】

生命科学科は、生体分子の構造と生理機能、生体分子の相互作用から種々の生体情報伝達を含めた生命現象を包括的に理解するとともに、生命倫理を遵守し、生命の基本原理を追求・発見し、広範で深い知識と解析能力を養い、独創性の高い研究を自ら遂行できる研究者・高度技術者を育成します。

#### ①生命科学コース

生命科学コースは、分子・細胞レベルから個体レベルに至るまで、生命現象の分子機構の解明、疾患原因遺伝子や原因タンパク質の解明、分子探索等、基礎研究に重点を置いて教育研究を推進します。また、生命科学分野の専門教育に加えて、生命倫理を遵守し、独創的発想の出来る研究者や技術者の育成、英語力を身につけた人材の育成に力を注ぎます。

### 【物質科学科】

エネルギー、環境技術および元素戦略を基軸とする新機能性材料ならびに高度生産技術の開発研究における応用化学や材料理工学を基盤とした物質科学が果たす役割はかつてないほど高まっています。こうした社会の要請に応えるためには、基礎科学の知識を結集して革新的材料や新化学プロセス技術の創製を目指す学問分野を切り開いていく必要があります。そこで設立されたのが、応用化学と材料理工学を融合した新しい教育研究体制としての物質科学科です。

#### ①応用化学コース

応用化学コースでは、原子や分子レベルで様々な現象を解明することから始まり、人類の生活を豊かにする新しい機能性物質の設計と合成、生物機能を利用した未来型反応・生産プロセスの開発、さらには、自然環境を守り、エネルギーを有効利用するための技術とプロセスの研究開発を推進します。

#### ②材料理工学コース

材料理工学コースでは、材料開発の基礎を担うマテリアル創成科学講座と応用を担うマテリアル機能講座の2つの大講座から構成され、金属、セラミックス、半導体などを中心に、高機能センサー、高密度情報記録媒体、光機能材料、エネルギー材料、力学機能材料などの先端材料や希少元素代替材料の研究開発を推進します。

### 【数理・電気電子情報学科】

数学、物理、計算機科学の基礎から、電気・電子・情報通信の最先端技術まで、広範な分野で活躍できる多彩な人材を養成します。そのため、自然科学の基礎である数学・物理学を学び論理的思考法を修養し科学技術に必須の計算機科学と情報通信理論を身につける数理科学コース、今日の産業・社会基盤に不可欠な電気エネルギー・エレクトロニクス・情報通信・制御システムにおいて高度な技術開発力を修得できる電気電子工学コース、医療・福祉・環境・防災減災のためにヒトとコンピュータが協調するヒューマンコンピュータインタラクションを実現する人間情報工学コース、これら3コースを設定し、教育研究を行います。

### ①数理科学コース

数理科学コースでは、少人数教育と演習を重視した双方向教育を実践して数学・理論物理学・計算機科学を学び、創造的な発想を持ち地域の再生を志す数理科学の専門家や高校教員（数学）の人材育成を目指します。

### ②電気電子工学コース

電気電子工学コースでは、電気エネルギーの効率的な発生・輸送と利用、光・電子デバイスの開発設計・製造、高度コミュニケーション社会の基盤技術となる情報通信技術の開発、効率的な制御システムの開発設計・製造など、電気電子工学を通じて国や地域に貢献できる人材養成を目指します。

### ③人間情報工学コース

人間情報工学コースでは、ヒトとコンピュータに関する教育研究を通じ、少子高齢化などにより大きく変わろうとしている国や地域に、高度なセンシング技術と情報通信技術の活用により貢献できる人材養成を目指します。

## 【システムデザイン工学科】

システムデザイン工学科では、地球環境から地域・生活環境に至る幅広い領域において、ナノ材料から大型構造物、さらには都市システムまでを対象とし、機械、社会基盤などのシステムをはじめ、様々な領域に渡る技術・知・「もの」からなる創造生産システムを、横断的かつ創造的にデザインするための教育研究を行います。

### ①機械工学コース

機械工学の基礎知識を有し、現代社会に重要な輸送機械の電動化、医療福祉工学、環境にやさしい機械工学の3つの特徴ある分野の知見を備え、応用力、協調性、自立性、プロジェクト遂行能力を併せ持つ将来の機械技術者を育成します。

### ②土木環境工学コース

環境構造工学、環境材料工学、地盤環境工学、水環境工学、福祉環境工学の5研究分野体制のもと、社会基盤の計画・設計・施工・維持・管理のために土木環境工学の基礎学力を備え、自然現象や社会現象を理解する能力や多様な情報を収集・分析し、社会の要請を多面的にとらえる能力を身につけ、環境や福祉に配慮できる土木技術者を育成します。

## (3) 教育制度の特徴

今日の理工学分野においては、国際的にもまた地域社会においてもその課題が多様化し、解決のための技術も高度化していることから、学際分野も含めた総合的な視野に基づく、先進的かつ独創的な学術研究を行う人材が必要とされています。

本学部では、理工学の各分野に必要な数学、理科（物理、化学、生物）を主に低学年で徹底理解させる教育カリキュラムを編成して特定の専門分野に偏らない幅広い学習を可能とし、高学年および大学院において、それぞれの専門分野における「6年一貫教育」を理想とした先端工学教育を実践します。これにより、社会の要請を理解し、専門知識を活かしながら論理的思考に基づき自ら課題を発見・解決できる力を身につけた人材の養成を行うことが可能となります。

また、従来の学科の垣根を取り除き、分野ごとに複数のコースを設定するコース制を採用しており、必要な条件を満たせば転コースが可能ないようにカリキュラムを組んでいます。

## (4) 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

### 【理工学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

#### ◆育てる人間像

理工学の分野においては、人材育成と研究開発の「リージョナルセンター」として、創造力と技術力を兼ね備えた人材を供給するとともに、イノベーション創出により地域産業に更なる発展をもたらすことが期待されています。理工学部では、自ら課題を発見でき、新しい未知の分野の課題に対しても幅広い視野から、柔軟で総合的な判断で課題を解決していける人材を育成します。

## ●求める人物像

1. 理工学を学ぶために必要な基礎学力を身につけた人
2. エネルギー・環境問題、新しいものづくりと物質・デバイス創成、また少子高齢化や自然災害対策などの大きな社会的課題に関心を持ち、積極的に自己学習できる人
3. 研究者や技術者として世界や地域の発展に貢献する意欲を持つ人

## [生命科学科]

### 《生命科学コース》

#### ●求める人物像

1. 科学全般、特に生命科学に興味を持つ人
2. 生命科学を学ぶ上で必要な基礎学力を持ち、特に化学と生物の学力と国語や英語などの語学能力を高いレベルで持つ人
3. 勉学と研究に高い目標を持ち、それを達成しようとする強い意志を持つ人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科学目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

#### ●入学者選抜の基本方針

##### 《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

①きらりと光る個性、②生命科学コースで学ぶことに強い意欲、③生命科学の貢献による地域や世界の発展に強い関心、を持つ人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（理科（物理基礎、化学基礎、生物基礎のいずれかを選択）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

##### 《総合型選抜Ⅰ（出願資格B）》

①高校で学んだ専門性を生かした生命科学の研究展開への関心、②生命科学コースで学ぶことに強い意欲、③生命科学の貢献による地域や世界の発展に強い関心、を持つ人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（理科（物理基礎、化学基礎、生物基礎のいずれかを選択）の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

##### 《総合型選抜Ⅱ》

①理工系の素養を生かした生命科学の研究展開への関心、②生命科学コースで学ぶことに強い意欲、③生命科学の貢献による地域や世界の発展に強い関心、を持つ人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

## [物質科学科]

### 《応用化学コース》

#### ●求める人物像

1. 化学が好きで、探究心が旺盛な人
2. 化学的現象の解明や自然と調和した未来物質の開発に興味のある人
3. 国際的に活躍する化学技術者・研究者を目指す強い意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科学目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

#### ●入学者選抜の基本方針

##### 《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

①きらりと光る個性、②応用化学コースで学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（物理基礎、化学基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

##### 《総合型選抜Ⅰ（出願資格B）》

①ものづくりへの強い関心、②応用化学コースで学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（物理基礎、化学基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

##### 《総合型選抜Ⅱ》

①化学による課題解決に積極的に取り組む姿勢、②応用化学コースで学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

### 《材料理工学コース》

#### ●求める人物像

1. 物理や化学が好きで、探求心が旺盛な人
2. 金属、半導体、セラミックスを利用した、機械・構造材料、磁性材料、電子・光学材料、センサー材料、環境・新エネルギー材料に興味がある人
3. 発展する科学技術の基礎となる様々な材料の研究と開発を行う技術者や研究者を目指す人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

- 理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科学目（例えば、「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
- 国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力
- そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

①きらりと光る個性、②材料理工学コースで学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（物理基礎、化学基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ（出願資格B）》

①金属、半導体、セラミックスを利用したものづくりに対する興味・関心、②材料理工学コースで学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（物理基礎、化学基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅱ》

①理数系に必要な基礎学力、②材料理工学コースで学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、面接を行い「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

[数理・電気電子情報学科]

《数理科学コース》

●求める人物像

1. 数学、物理学、計算機科学に興味を持ち深く学んでみたい人
2. 論理的かつ客観的な視点で粘り強く考えることが好きな人
3. 自然の原理や仕組みについて考えたり話したりすることを楽しく感じる人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

- 数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」,「数学Ⅱ」,「数学Ⅲ」,「数学A」,「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力
- 理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科学目（例えば、「物理基礎・物理」,「化学基礎・化学」,「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
- 国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力
- そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

数学、物理学、計算機科学に対する強い関心と学習意欲を持つ、人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」を評価します。面

接（数学〔数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

#### 《総合型選抜Ⅱ》

十分な基礎学力を持ち，数学，物理学，計算機科学に対する強い関心を持つ，人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

### 《電気電子工学コース》

#### ●求める人物像

1. 数学や物理が好きで，ものやシステムの原理や仕組みを論理的に思考・理解しようとする人
2. 環境に調和した電気エネルギー，創意や工夫にあふれる光・電子デバイス，人にやさしく知的な情報通信や医療機器，社会の基盤を支えるコンピュータや制御システムなどに興味のある人
3. 創造性を発揮して国際的に活躍する最先端のエレクトロニクス技術者や研究者を目指す意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば，「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科学科（例えば，「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語，英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力，表現力，読解力，思考力，論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な，地理歴史，公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

#### ●入学者選抜の基本方針

##### 《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

①きらりと光る個性，②電気電子工学コースで学ぶことに強い意欲，③地域や世界の発展に強い関心，を持っている人を求めます。

そのため，講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕，物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

##### 《総合型選抜Ⅰ（出願資格B）》

①ものづくりへの関心，②電気電子工学コースで学ぶことに強い意欲，③地域や世界の発展に強い関心，を持っている人を求めます。

そのため，講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕，物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

#### 《総合型選抜Ⅱ》

電気電子工学に強い関心を持ち，人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

## 《人間情報工学コース》

### ●求める人物像

1. 感性が豊かで、論理的思考に習熟し、対象を広く、また深く理解しようとする人
2. ヒトとコンピュータとの調和に配慮した高度な情報通信技術（ICT）に興味がある人
3. 日進月歩の高度情報化社会に貢献する技術者や研究者を目指す、意欲のある人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力

理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科学目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力

国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力

そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

### ●入学者選抜の基本方針

#### 《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

①情報通信技術に対する強い関心と学習意欲、②豊かな人間性と感性、③地域社会の発展への強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕分野に関する知識についての質問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

#### 《総合型選抜Ⅰ（出願資格B）》

①情報通信技術を活かしたものづくりへの強い関心、②豊かな人間性と感性、③地域社会の発展への強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕分野に関する知識についての質問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

#### 《総合型選抜Ⅱ》

①情報通信技術やヒトを中心としたシステム設計に対する強い関心、②豊かな人間性と感性、③地域社会の発展への強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

## [システムデザイン工学科]

### 《機械工学コース》

#### ●求める人物像

1. 数学や物理が好きで学習意欲があり、工学の基礎学力を高めたい人
2. 設計、力学、制御を学び、ものづくりによりエンジニアの素養を得たい人
3. 輸送機械の電動化、医療福祉工学、環境にやさしい機械工学の3分野のいずれかに興味を持ち、深く学びたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

- 数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力
- 理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科学目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
- 国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力
- そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

## ●入学者選抜の基本方針

### 《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

①きらりと光る個性、②理工学部で学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕、物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

### 《総合型選抜Ⅰ（出願資格B）》

①ものづくりに対する関心、②理工学部で学ぶことに強い意欲、③地域や世界の発展に強い関心、を持っている人を求めます。

そのため、講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕、物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

### 《総合型選抜Ⅱ》

機械工学に強い関心を持ち、人間性豊かで個性に輝く人を求めます。

そのため、大学入学共通テストで「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で、面接を行い「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお、提出書類を面接の参考資料とします。

## 《土木環境工学コース》

### ●求める人物像

1. 数学や物理などの自然科学の知識を社会基盤の整備と発展に活かしたい人
2. すべての人が安心して生活できる社会基盤をつくるには、どうすればよいのかに興味がある人
3. 自然環境と人間環境が調和した社会基盤の整備と発展に役立ちたい人

※高等学校等で修得すべき具体的な内容（入学者選抜試験の範囲とは異なります。）

- 数 学—各高校の教育課程で学ぶ数学科目（例えば、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」など）の理解に基づく数学的思考力
- 理 科—各高校の教育課程で学ぶ理科学目（例えば、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」など）の理解に基づく科学的思考力
- 国語、英語—国際社会で活躍する人材の素養としてのコミュニケーション能力、表現力、読解力、思考力、論理的な構成能力
- そ の 他—教養のある豊かな人間性をはぐくむために必要な、地理歴史、公民などの素養と社会事象に対する関心や探究心

●入学者選抜の基本方針

《総合型選抜Ⅰ（出願資格A）》

①きらりと光る個性，②理工学部で学ぶことに強い意欲，③地域や世界の発展に強い関心，を持っている人を求めます。

そのため，講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕，物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅰ（出願資格B）》

①ものづくりへの関心，②理工学部で学ぶことに強い意欲，③地域や世界の発展に強い関心，を持っている人を求めます。

そのため，講義を受講した後に提出するレポートで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接（数学〔数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Aの全項目と数学Bの「数列」および「ベクトル」を出題範囲とする〕，物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

《総合型選抜Ⅱ》

大学入学共通テストの成績を含め，学業成績が優秀であり，土木環境工学コースでの勉学に強い意欲を持っている人を求めます。

そのため，大学入学共通テストで「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」を評価します。個別学力検査等で，面接を行い「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。なお，提出書類を面接の参考資料とします。

【理工学部総合型選抜の入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (主体性・多様性・協働性)
総合型選抜Ⅰ (出願資格A)	提出レポート	○	○	
	面接(口頭試問を含む)	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調査書	○		○
総合型選抜Ⅰ (出願資格B)	提出レポート	○	○	
	面接(口頭試問を含む)	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調査書	○		○
総合型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面接	○	○	○
	自己アピール書		○	○
	調査書			○

## 理工学部総合型選抜による選抜方法等

理工学部総合型選抜Ⅰ（出願資格A・B）（大学入学共通テストを課さない）と理工学部総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）があります。

### 【理工学部総合型選抜Ⅰ（出願資格A）】

#### 1. 募集コースおよび募集人員

学 科	コ ー ス	募 集 人 員
生 命 学 科	生 命 学 科 コ ー ス	8 名
物 質 学 科	応 用 化 学 コ ー ス	8 名
	材 料 工 学 コ ー ス	8 名
数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科	数 理 学 科 コ ー ス	4 名
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	7 名
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス	5 名
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	1 1 名
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス	5 名
計		5 6 名

#### 2. 出願資格

総合型選抜Ⅰ（出願資格A）に出願することのできる者は、次のいずれかに該当する者としてします。また、合格した場合、入学を確約することができる者としてします。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者
  - ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和4年3月修了見込みの者
  - ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条（第6号を除く）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次のアからカのいずれかに該当する者および令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者
    - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
    - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
    - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
    - エ 文部科学大臣の指定した者
    - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）で18歳に達したもの
    - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの
- ③のカによる出願は、本学において個別の入学資格審査を要するので、26ページを参照の上、申請してください。

### 3. 出願手続

#### (1) 出願書類等

書 類 等	摘 要
① 入 学 志 願 票	<p>本学部所定の志願票に下記により記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志望コース：志望するコース名を記入してください。</li> <li>・選 抜 区 分：選択する選抜区分に☑してください。なお、総合型選抜Ⅰ（出願資格A）と総合型選抜Ⅱ（出願資格B）は併願不可です。</li> <li>・氏名(ふりがな)：楷書で記入し、ふりがなを付けてください。</li> <li>・生年月日等：生年月日を記入し、男・女いずれかを○で囲んでください。</li> <li>・出 願 資 格：出願資格について記入してください。</li> <li>・連 絡 先：本人および保護者の郵便番号、住所、電話番号を記入してください。なお、電話が呼び出しとなる場合は、その氏名等を記入してください。保護者の連絡先が本人と同じ場合は「同上」と記入してもかまいません。</li> <li>・履 歴：大学入学、退学・就職・自宅勉学等を必ず記入してください。ただし、高校卒業見込者を除きます。</li> </ul>
② 受験票・写真票	<p>本学部所定の用紙に所要事項を記入し、写真（4cm×3cmの大きさで、正面、上半身、無帽で出願前3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。</p>
③ 自己アピール書	<p>本学部所定の様式に自己アピールできることを400字以内に自筆で記入してください。A4判（両面可）1枚程度の参考資料の添付は認めますが、CD等の添付は認めません。なお、必要であれば、参考資料に写真を貼り付けてもかまいません。成果獲得に関わることは、努力のプロセス等について記入してください。成果獲得に関わらないことは、このかぎりではありません。</p>
④ 調 査 書	<p>在学または出身学校長が文部科学省で定めた様式により作成し、厳封したもの。 高等学校卒業程度認定試験に合格した者および大学入学資格検定に合格した者は、合格成績証明書を調査書に代えることができます。 指導要録の保存期間の経過および廃校・被災その他の事情により、調査書が得られない場合は、卒業証明書、単位取得証明書、成績通信簿の写し（本人が保管している場合）その他志願者が提出できる書類をもってこれに代えます。</p> <p>〈調査書を発行する高等学校等へ〉 調査書の記載等については、次のとおりお願いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 調査書様式裏面「7. 指導上参考となる諸事項」については、簡潔に記載してください。事項や記載量の多寡は評価しません。</li> <li>② 「8. 備考」欄については、記載を求めません。記載されている場合でも評価の対象としません。</li> <li>③ 様式裏面の記載はA4判2枚以内とします。</li> <li>④ 調査書がA4判2枚以上となった場合には、2枚目の調査書の上部に受験者氏名を記載してください。ホチキスなどで留めることはしないようにしてください。</li> <li>⑤ 過年度卒業生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。</li> </ol>
⑤ 検定料・検定料振替払込受付証明書貼付台紙	<p>検定料は17,000円です。 本学部所定の払込取扱票に志願者本人の氏名その他必要事項を記入し、原則として<b>令和3年8月19日(木)以降出願前まで</b>ゆうちょ銀行または郵便局の窓口で振り込んでください。（振込手数料は負担願います）※ATM（現金自動預け払い機）は使用しないでください。 振込の際に受領する「振替払込受付証明書」を台紙にしっかりと貼ってください。台紙には、氏名、志望コースを記入してください。 出願手続完了後は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。 ただし、検定料の払込後に出願しなかった場合は、検定料を返還しますので、原則として令和3年9月8日(水)から9月14日(火)までの間（土・日・祝日は除きます）に、秋田大学経理・調達課出納担当（TEL 018-889-2234）に申し出てください。</p>
⑥ 受験票等送付用封筒	<p>本学部所定の封筒に、住所、氏名を明記し、374円分の切手を貼ってください。</p>
⑦ 合格通知用宛名票	<p>本学部所定の用紙に、所要事項を記入してください。</p>

- (2) 出願書類等受付期間 令和3年9月1日(水)～9月7日(火)(必着)
- (3) 出願方法  
出願書類等は一括し、本要項に添付の出願用封筒に入れて、原則として「速達簡易書留」により期日までに郵送してください。
- (4) 出願にあたっての留意事項
- ① 出願書類等に不備がある場合には、これを受理しません。
  - ② 本学が受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。
  - ③ 出願後、出願書類等の「受信場所」に変更があった場合は速やかに連絡してください。
  - ④ 出願書類等に虚偽があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。

## 4. 選抜方法

- (1) 選抜方法および配点

選 抜 方 法	配 点
講義を受講した後に提出するレポート	30点
面 接	70点
合 計	100点

- (2) 選抜期日 令和3年10月2日(土) 【講義】8時30分～12時00分 【面接】13時00分～18時00分
- (3) 選抜会場 秋田大学理工学部(秋田市手形学園町1番1号)  
集合場所・時刻等は受験票送付時に通知します。  
受験票が9月29日(水)まで手元に届いていない場合、入試課へ速やかに連絡してください。
- (4) 講義について  
各コースごと会場に集まり、講師が講義をし、受験者は講義を受けながら講義の内容を理解し、指示にしたがってレポートを作成し、提出することとなります。講義の内容は高等学校の教科等の範囲外のものが含まれますが、講師は受験者へわかりやすいように工夫して講義をします。なお、講義のテーマは選抜期日当日に公表します。

- (5) 面接における評価の観点・基準等

提出書類を面接の参考資料とします。

面接においては制作物等の持ち込みを認めません。

### 生命科学コース

面接[理科(物理基礎、化学基礎、生物基礎のいずれかを選択)の基礎学力に関する試問を含む]を通じて、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

### 応用化学コース

面接(物理基礎、化学基礎の基礎学力に関する試問を含む)を通じて、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。また、積極性、応用化学への適正等をみます。

### 材料理工学コース

面接(物理基礎、化学基礎の基礎学力に関する試問を含む)を通じて、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。これにより、材料理工学を学ぶのに適した能力を有しているかをみます。

### 数理科学コース

面接(数学\*の基礎学力に関する試問を含む)を通じて、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

### 電気電子工学コース

面接(数学\*、物理基礎の基礎学力に関する試問を含む)を通じて、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

### 人間情報工学コース

面接（数学＊分野に関する知識についての質問を含む）を通じて、「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。特に、論理的思考、勉学意欲、適性、数学分野および関連分野の知識、人間情報工学と社会の関わりについての関心等を重視します。

### 機械工学コース

面接（数学＊, 物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を通じて、「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。これにより、機械工学を学ぶ学生としての適性を判断します。

### 土木環境工学コース

面接（数学＊, 物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を通じて、「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

＊数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学Bとします。数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Aは高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし、数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。

## (6) 受験上の注意事項

- ① 受験票を忘れずに持参してください。受付を行う際には係員に提示してください。また、試験時間中は受験票を机の上に置いてください。
- ② 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後10分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ③ 試験時間中は、受験票、黒鉛筆（H, F, HBに限る）、鉛筆キャップ、シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類を除く）、定規、時計（辞書や電卓等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、目薬以外のものは、机の上に置くことはできません。
- ④ 携帯電話等の電子機器類を持参した場合は、アラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中、身につけていたり手に持っていた場合は、不正行為となることがあります。
- ⑤ 不正行為を行った場合は以後の受験は認められません。
- ⑥ 試験時間中はすべて試験監督者の指示に従ってください。

## 5. 合格者の発表

令和3年11月1日(月) 15時(予定)

秋田大学ホームページ内「入試情報」に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書および入学関係書類等を送付します。

ホームページへの掲載は、情報サービスの一環として行っておりますので、必ず合格通知書で確認してください。

注) 電話による問い合わせには一切応じません。

## 6. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

病気・負傷、身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下、「障害等」という。）により、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願に先立ち、本学部所定の用紙に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、令和3年8月18日(水)までに本学入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により、受験上の配慮が必要となった場合には、速やかに相談してください。

また、障害等の程度によっては、事前の準備が必要となる場合がありますので、本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき、進路決定等により特別措置が不要となった場合には、その旨本学入試課までお知らせください。

なお、事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○相談先 秋田大学入試課 電話：018-889-2313 E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

## 7. 入学手続

合格者には入学手続書類を郵送しますので、令和3年11月11日(木)～11月17日(水)(必着)までに、入学料を納付するとともに、入学手続書類を郵送により提出してください。

納付金

- ①入学料 282,000円(予定額)
- ②授業料 前期分 267,900円(年額535,800円)(予定額)

- 注) 1. 上記納付金は予定額であり、入学前に入学料が改定された場合には、改定時から入学希望者全員に新入学料が適用されます。また、入学時または在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。授業料は入学後に納入してください。
2. 納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

## 8. 個人の試験成績の開示

受験者の試験順位を不合格者に限り、本人の申し出によって「A, B, C」のランク区分により開示しますので、下記の申込期間内にお申し込みください。申込みの際、本学の受験票が必要となります。

ただし、不合格者が3名未満の場合は開示しません。

- (1) 申込期間 令和4年5月1日(日)～令和4年6月30日(木)
- (2) 申込窓口 申込方法等詳細については下記にお問い合わせください。

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 電話 018-889-2313

## 9. その他

- ① 総合型選抜による選抜方法は理工学部が求める学生像に適した資質を問う選抜なので、合格者数は募集人員に満たない場合があります。その場合の欠員は理工学部が実施する今後の選抜試験の募集人員で充足します。
- ② 総合型選抜の合格者は、原則として入学辞退は認められません。  
ただし、特別の事情により入学を辞退する場合は、入学手続日までに本学の許可を得なければなりません。
- ③ 総合型選抜の合格者が入学手続を完了したときは、本学および他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。
- ④ 総合型選抜の合格者が、入学手続期間最終日までに入学手続を完了しないときは、総合型選抜合格者としての権利を失います。さらに、本学または他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはなりませんので、入学または入学辞退のいずれの手続も行わないままとすることがないように注意してください。
- ⑤ 入学手続が完了した合格者には、在学中の高等学校等と本学教員が相談したうえで、入学前教育の指導を行います。連絡があれば指示に従ってください。
- ⑥ 入学料・授業料は高等教育の修学支援新制度に基づいて免除される制度があります。(高等教育の修学支援新制度については、文部科学省および日本学生支援機構のHPを参照してください。)また、経済的理由等により期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合には、選考の上、猶予が認められる制度があります。(詳細は入学手続関係書類でお知らせします。)

## 10. 理工学部総合型選抜に関する問い合わせ先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 電話 018-889-2313

E-mail : nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

## 【理工学部総合型選抜Ⅰ（出願資格B）】

### 1. 募集コースおよび募集人員

学 科	コ ー ス	募 集 人 員
生 命 学 科	生 命 学 科 コ ー ス	2 名
物 質 学 科	応 用 化 学 コ ー ス	2 名
	材 料 理 工 学 コ ー ス	2 名
数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	7 名
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス	2 名
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	5 名
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス	2 名
計		2 2 名

### 2. 出願資格

総合型選抜Ⅰ（出願資格B）に出願することのできる者は、次のすべてに該当する者としてします。また、合格した場合、入学を確約することができる者としてします。

- ① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者
- ② 令和4年3月31日までに次の志望するコースの出願要件を満たす者

志望コース	出 願 要 件
生 命 学 科 コ ー ス	農業、工業、水産、家庭、看護および福祉に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）した者〔学科の指定なし〕
応 用 化 学 コ ー ス	工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）をした者〔学科の指定なし〕
材 料 理 工 学 コ ー ス	工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）をした者〔学科の指定なし〕
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	工業および情報に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）をした者〔学科の指定なし〕
人 間 情 報 工 学 コ ー ス	工業および情報に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）をした者〔学科の指定なし〕
機 械 工 学 コ ー ス	工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）をした者〔学科の指定なし〕
土 木 環 境 工 学 コ ー ス	工業および農業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む。）をした者〔学科の指定なし〕

### 3. 出願手続

#### (1) 出願書類等

書 類 等	摘 要
① 入 学 志 願 票	<p>本学部所定の志願票に下記により記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志望コース：志望するコース名を記入してください。</li> <li>・選 抜 区 分：選択する選抜区分に☑してください。なお、総合型選抜Ⅰ（出願資格A）と総合型選抜Ⅱ（出願資格B）は併願不可です。</li> <li>・氏名(ふりがな)：楷書で記入し、ふりがなを付けてください。</li> <li>・生年月日等：生年月日を記入し、男・女いずれかを○で囲んでください。</li> <li>・出 願 資 格：出願資格について記入してください。</li> <li>・連 絡 先：本人および保護者の郵便番号、住所、電話番号を記入してください。なお、電話が呼び出しとなる場合は、その氏名等を記入してください。保護者の連絡先が本人と同じ場合は「同上」と記入してもかまいません。</li> <li>・履 歴：大学入学、退学・就職・自宅勉強等を必ず記入してください。ただし、高校卒業見込者を除きます。</li> </ul>
② 受験票・写真票	<p>本学部所定の用紙に所要事項を記入し、写真（4cm×3cmの大きさで、正面、上半身、無帽で出願前3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。</p>
③ 自己アピール書	<p>本学部所定の様式に自己アピールできることを400字以内に自筆で記入してください。A4判（両面可）1枚程度の参考資料の添付は認めますが、CD等の添付は認めません。なお、必要であれば、参考資料に写真を貼り付けてもかまいません。</p> <p>成果獲得に関わることは、努力のプロセス等について記入してください。成果獲得に関わらないことは、このかぎりではありません。</p>
④ 調 査 書	<p>在学または出身学校長が文部科学省で定めた様式により作成し、厳封したもの。</p> <p>指導要録の保存期間の経過および廃校・被災その他の事情により、調査書が得られない場合は、卒業証明書、単位取得証明書、成績通信簿の写し（本人が保管している場合）その他志願者が提出できる書類をもってこれに代えます。</p> <p>〈調査書を発行する高等学校等へ〉</p> <p>調査書の記載等については、次のとおりお願いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 調査書様式裏面「7. 指導上参考となる諸事項」については、簡潔に記載してください。事項や記載量の多寡は評価しません。</li> <li>② 「8. 備考」欄については、記載を求めません。記載されている場合でも評価の対象としません。</li> <li>③ 様式裏面の記載はA4判2枚以内とします。</li> <li>④ 調査書がA4判2枚以上となった場合には、2枚目の調査書の上部に受験者氏名を記載してください。ホチキスなどで留めることはしないようにしてください。</li> <li>⑤ 過年度卒業生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。</li> </ol>
⑤ 検定料・検定料振替払込受付証明書貼付台紙	<p>検定料は17,000円です。</p> <p>本学部所定の払込取扱票に志願者本人の氏名その他必要事項を記入し、原則として<b>令和3年8月19日（木）以降出願前までゆうちょ銀行または郵便局の窓口で振り込んでください。（振込手数料は負担願います）※ATM（現金自動預け払い機）は使用しないでください。</b></p> <p>振込の際に受領する「振替払込受付証明書」を台紙にしっかりと貼ってください。台紙には、氏名、志望コースを記入してください。</p> <p>出願手続完了後は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。</p> <p>ただし、検定料の払込後に出願しなかった場合は、検定料を返還しますので、原則として令和3年9月8日（水）から9月14日（火）までの間（土・日・祝日は除きます）に、秋田大学経理・調達課出納担当（TEL 018-889-2234）に申し出てください。</p>
⑥ 受験票等送付用封筒	<p>本学部所定の封筒に、住所、氏名を明記し、374円分の切手を貼ってください。</p>
⑦ 合格通知用宛名票	<p>本学部所定の用紙に、所要事項を記入してください。</p>
⑧ 出願要件確認書	<p>本学部所定の用紙に、出身校において記入してください。</p>

(2) 出願書類等受付期間 令和3年9月1日（水）～9月7日（火）（必着）

(3) 出願方法

出願書類等は一括し、本要項に添付の出願用封筒に入れて、原則として「速達簡易書留」により期日までに郵送してください。

(4) 出願にあたっての留意事項

- ① 出願書類等に不備がある場合には、これを受理しません。
- ② 本学が受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。
- ③ 出願後、出願書類等の「受信場所」に変更があった場合は速やかに連絡してください。
- ④ 出願書類等に虚偽があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。

## 4. 選抜方法

(1) 選抜方法および配点

選 抜 方 法	配 点
講義を受講した後に提出するレポート	30点
面 接	70点
合 計	100点

(2) 選抜期日 令和3年10月2日(土) 【講義】8時30分～12時00分 【面接】13時00分～18時00分

(3) 選抜会場 秋田大学理工学部(秋田市手形学園町1番1号)  
集合場所・時刻等は受験票送付時に通知します。  
受験票が9月29日(水)まで手元に届いていない場合、入試課へ速やかに連絡してください。

(4) 講義について

各コースごと会場に集まり、講師が講義をし、受験者は講義を受けながら講義の内容を理解し、指示にしたがってレポートを作成し、提出することとなります。講義の内容は高等学校の教科等の範囲外のものが含まれますが、講師は受験者へわかりやすいように工夫して講義をします。なお、講義のテーマは選抜期日当日に公表します。

(5) 面接における評価の観点・基準等

提出書類を面接の参考資料とします。

面接においては制作物等の持ち込みを認めません。

### 生命科学コース

面接[理科(物理基礎, 化学基礎, 生物基礎のいずれかを選択)の基礎学力に関する試問を含む]を通じて、「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

### 応用化学コース

面接(物理基礎, 化学基礎の基礎学力に関する試問を含む)を通じて、「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。また、積極性, 応用化学への適正等をみます。

### 材料理工学コース

面接(物理基礎, 化学基礎の基礎学力に関する試問を含む)を通じて、「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。これにより, 材料理工学を学ぶのに適した能力を有しているかをみます。

### 電気電子工学コース

面接(数学\*, 物理基礎の基礎学力に関する試問を含む)を通じて、「知識・技能」, 「思考力・判断力・表現力」, 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

## 人間情報工学コース

面接（数学\*分野に関する知識についての質問を含む）を通じて、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。特に、論理的思考、勉学意欲、適性、数学分野および関連分野の知識、人間情報工学と社会の関わりについての関心等を重視します。

## 機械工学コース

面接（数学\*、物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を通じて、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。これにより、機械工学を学ぶ学生としての適性を判断します。

## 土木環境工学コース

面接（数学\*、物理基礎の基礎学力に関する試問を含む）を通じて、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

\*数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学Bとします。数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Aは高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。ただし、数学Bは「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。

## (6) 受験上の注意事項

- ① 受験票を忘れずに持参してください。受付を行う際には係員に提示してください。また、試験時間中は受験票を机の上に置いてください。
- ② 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後10分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ③ 試験時間中は、受験票、黒鉛筆（H、F、HBに限る）、鉛筆キャップ、シャープペンシル、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類を除く）、定規、時計（辞書や電卓等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、目薬以外のものは、机の上に置くことはできません。
- ④ 携帯電話等の電子機器類を持参した場合は、アラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中、身につけていたり手に持っていた場合は、不正行為となることがあります。
- ⑤ 不正行為を行った場合は以後の受験は認められません。
- ⑥ 試験時間中はすべて試験監督者の指示に従ってください。

## 5. 合格者の発表

令和3年11月1日(月) 15時(予定)

秋田大学ホームページ内「入試情報」に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書および入学関係書類等を送付します。

ホームページへの掲載は、情報サービスの一環として行っておりますので、必ず合格通知書で確認してください。

注) 電話による問い合わせには一切応じません。

## 6. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

病気・負傷、身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下、「障害等」という。）により、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願に先立ち、本学部所定の用紙に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、令和3年8月18日(水)までに本学入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により、受験上の配慮が必要となった場合には、速やかに相談してください。

また、障害等の程度によっては、事前の準備が必要となる場合がありますので、本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき、進路決定等により特別措置が不要となった場合には、その旨本学入試課までお知らせください。

なお、事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○相談先 秋田大学入試課 電話：018-889-2313 E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

## 7. 入学手続

合格者には入学手続書類を郵送しますので、令和3年11月11日(木)～11月17日(水)(必着)までに、入学料を納付するとともに、入学手続書類を郵送により提出してください。

納付金

- ①入学料 282,000円(予定額)
- ②授業料 前期分 267,900円(年額535,800円)(予定額)

- 注) 1. 上記納付金は予定額であり、入学前に入学料が改定された場合には、改定時から入学希望者全員に新入学料が適用されます。また、入学時または在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。授業料は入学後に納入してください。
2. 納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

## 8. 個人の試験成績の開示

受験者の試験順位を不合格者に限り、本人の申し出によって「A, B, C」のランク区分により開示しますので、下記の申込期間内にお申し込みください。申込みの際、本学の受験票が必要となります。

ただし、不合格者が3名未満の場合は開示しません。

- (1) 申込期間 令和4年5月1日(日)～令和4年6月30日(木)
- (2) 申込窓口 申込方法等詳細については下記にお問い合わせください。

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 電話 018-889-2313

## 9. その他

- ① 総合型選抜による選抜方法は理工学部が求める学生像に適した資質を問う選抜なので、合格者数は募集人員に満たない場合があります。その場合の欠員は理工学部が実施する今後の選抜試験の募集人員で充足します。
- ② 総合型選抜の合格者は、原則として入学辞退は認められません。  
ただし、特別の事情により入学を辞退する場合は、入学手続日までに本学の許可を得なければなりません。
- ③ 総合型選抜の合格者が入学手続を完了したときは、本学および他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。
- ④ 総合型選抜の合格者が、入学手続期間最終日までに入学手続を完了しないときは、総合型選抜合格者としての権利を失います。さらに、本学または他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはなりませんので、入学または入学辞退のいずれの手続も行わないままとすることがないように注意してください。
- ⑤ 入学手続が完了した合格者には、在学中の高等学校等と本学教員が相談したうえで、入学前教育の指導を行います。連絡があれば指示に従ってください。
- ⑥ 入学料・授業料は高等教育の修学支援新制度に基づいて免除される制度があります。(高等教育の修学支援新制度については、文部科学省および日本学生支援機構のHPを参照してください。)また、経済的理由等により期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合には、選考の上、猶予が認められる制度があります。(詳細は入学手続関係書類でお知らせします。)

## 10. 理工学部総合型選抜に関する問い合わせ先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 電話 018-889-2313

E-mail : nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

## 【理工学部総合型選抜Ⅱ】

### 1. 募集コースおよび募集人員

学 科	コ ー ス	募 集 人 員
生 命 学 科	生 命 学 科 コ ー ス	4 名
物 質 学 科	応 用 化 学 コ ー ス	3 名
	材 料 工 学 コ ー ス	4 名
数 理 ・ 電 気 電 子 情 報 学 科	数 理 学 科 コ ー ス	2 名
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	7 名
	人 間 情 報 工 学 コ ー ス	3 名
シ ス テ ム デ ザ イ ン 工 学 科	機 械 工 学 コ ー ス	6 名
	土 木 環 境 工 学 コ ー ス	7 名
計		3 6 名

### 2. 出願資格

総合型選抜Ⅱに出願することのできる者は、次の①②の要件すべてに該当する者とし、合格した場合、入学を確約することができる者とします。

① 次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和4年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条（第6号を除く）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる次のアからカのいずれかに該当する者および令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ 文部科学大臣の指定した者

オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む）で18歳に達したもの

カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

(3)のカによる出願は、本学において個別の入学資格審査を要するので、26ページを参照の上、申請してください。

② 令和4年度大学入学共通テスト（指定する教科・科目を含む。）を受験する者

### 3. 出願手続

#### (1) 出願書類等

書 類 等	摘 要
① 入 学 志 願 票	<p>本学部所定の志願票に下記により記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志望コース：志望するコース名を記入してください。</li> <li>・氏名(ふりがな)：楷書で記入し、ふりがなを付けてください。</li> <li>・生年月日等：生年月日を記入し、男・女いずれかを○で囲んでください。</li> <li>・出 願 資 格：出願資格について記入してください。</li> <li>・連 絡 先：本人および保護者の郵便番号、住所、電話番号を記入してください。なお、電話が呼び出しとなる場合は、その氏名等を記入してください。保護者の連絡先が本人と同じ場合は「同上」と記入してもかまいません。</li> <li>・履 歴：大学入学、退学・就職・自宅勉学等を必ず記入してください。ただし、高校卒業見込者を除きます。</li> <li>・大学入学共通テスト受験科目目：令和4年度大学入学共通テストで受験する科目すべてに、○印をつけてください。</li> </ul>
② 電 算 処 理 原 票	令和4年度大学入学共通テストの成績請求票（国公立総合型選抜用）を貼ってください。
③ 受 験 票 ・ 写 真 票	本学部所定の用紙に所要事項を記入し、写真（4cm×3cmの大きさで、正面、上半身、無帽で出願前3か月以内に撮影したもの）を貼ってください。
④ 自 己 ア ピ ー ル 書	<p>本学部所定の様式に自己アピールできることを400字以内に自筆で記入してください。A4判（両面可）1枚程度の参考資料の添付は認めますが、CD等の添付は認めません。なお、必要であれば、参考資料に写真を貼り付けてもかまいません。</p> <p>成果獲得に関わることは、努力のプロセス等について記入してください。成果獲得に関わらないことは、このかぎりではありません。</p>
⑤ 調 査 書	<p>在学または出身学校長が文部科学省で定めた様式により作成し、厳封したもの。</p> <p>高等学校卒業程度認定試験に合格した者および大学入学資格検定に合格した者は、合格成績証明書を調査書に代えることができます。</p> <p>指導要録の保存期間の経過および廃校・被災その他の事情により、調査書が得られない場合は、卒業証明書、単位取得証明書、成績通信簿の写し（本人が保管している場合）その他志願者が提出できる書類をもってこれに代えます。</p> <p>〈調査書を発行する高等学校等へ〉</p> <p>調査書の記載等については、次のとおりお願いします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 調査書様式裏面「7. 指導上参考となる諸事項」については、簡潔に記載してください。事項や記載量の多寡は評価しません。</li> <li>② 「8. 備考」欄については、記載を求めません。記載されている場合でも評価の対象としません。</li> <li>③ 様式裏面の記載はA4判2枚以内とします。</li> <li>④ 調査書がA4判2枚以上となった場合には、2枚目の調査書の上部に受験者氏名を記載してください。ホチキスなどで留めることはしないようにしてください。</li> <li>⑤ 過年度卒業生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。</li> </ol>
⑥ 検 定 料 ・ 検 定 料 振 替 払 込 受 付 証 明 書 貼 付 台 紙	<p>検定料は17,000円です。</p> <p>本学部所定の払込取扱票に志願者本人の氏名その他必要事項を記入し、原則として<b>令和3年12月1日(水)以降出願前まで</b>ゆうちょ銀行または郵便局の窓口で振り込んでください。(振込手数料は負担願います)※ATM(現金自動預け払い機)は使用しないでください。</p> <p>振込の際に受領する「振替払込受付証明書」を台紙にしっかりと貼ってください。台紙には、氏名、志望コースを記入してください。</p> <p>出願手続完了後は、いかなる理由があっても既納の検定料は返還しません。</p> <p>ただし、検定料の払込後に出願しなかった場合は、検定料を返還しますので、原則として令和3年12月22日(水)から12月27日(月)までの間(土・日・祝日は除きます)に、秋田大学経理・調達課出納担当(TEL 018-889-2234)に申し出てください。</p>
⑦ 受 験 票 等 送 付 用 封 筒	本学部所定の封筒に、住所、氏名を明記し、374円分の切手を貼ってください。
⑧ 合 格 通 知 用 宛 名 票	本学部所定の用紙に、所要事項を記入してください。

- (2) 出願書類等受付期間 令和3年12月15日(水)～12月21日(火)(必着)
- (3) 出願方法  
出願書類等は一括し、本要項に添付の出願用封筒に入れて、原則として「速達簡易書留」により期日までに郵送してください。
- (4) 出願にあたっての留意事項
- ① 出願書類等に不備がある場合には、これを受理しません。
  - ② 本学が受理した出願書類等の返還および記載事項の変更は認めません。
  - ③ 出願後、出願書類等の「受信場所」に変更があった場合は速やかに連絡してください。
  - ④ 出願書類等に虚偽があった場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。

#### 4. 選抜方法

- (1) 選抜方法および配点

選 抜 方 法	配 点
大学入学共通テスト	600点
面 接	100点
合 計	700点

- (2) 選抜期日 令和4年1月21日(金) 8時30分～17時00分
- (3) 選抜会場 秋田大学理工学部(秋田市手形学園町1番1号)  
集合場所・時刻等は受験票送付時に通知します。  
受験票が令和4年1月7日(金)まで手元に届いていない場合、入試課へ速やかに連絡してください。
- (4) 大学入学共通テストについて  
指定する教科・科目を一つでも受験していない場合は、出願できません。注意事項をよく読み、漏れがないよう注意してください。

受験を要する 教科・科目名		国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学					理 科				外国語										
					数 学 I	数 学 I・ 数 学 A	数 学 II	数 学 II・ 数 学 B	簿 記・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	英 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語	
全コース	パ タ ー ン ①	×	×	×	○	○	○	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
					1		1			2				1			1							
全コース	パ タ ー ン ②	×	×	×	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
					1		1			0				2			1							
配点 合計600					200 (100×1.0×2)					200 (100×1.0×2)				200 (200×1.0×1)										

×は採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

#### [注意事項]

ア 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校の専門教育を主とする学科(理数科を除く。)または総合学科の卒業(見込み)者ならびに文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)の者に限ります。

- イ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ウ 英語にはリスニングを含みます。なお、リスニングの受験を免除された者については、リーディング（100点満点）の成績を、200点満点に換算して利用します。
- エ それぞれのパターンのいずれかを満たすよう受験してください。
- オ 配点欄の（ ）内は、大学入学共通テストの素点、傾斜率および科目数を示します。（素点×傾斜率×科目数）
- カ 大学入学共通テストの理科の素点は、「基礎を付した科目」2科目選択で100点、「基礎を付さない科目」1科目選択で100点とします。
- キ 大学入学共通テストの外国語で「英語」を選択した場合は、「リーディング」と「リスニング」の配点比率を1：1とします。

(5) 面接における評価の観点・基準等

- ① 提出書類を面接の参考資料とします。
- ② 面接においては制作物等の持ち込みを認めません。
- ③ 面接により、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。

(6) 受験上の注意事項

- ① 試験当日は、「令和4年度受験票 [理工学部総合型選抜Ⅱ]」および「令和4年度大学入学共通テスト受験票」を忘れずに持参してください。受付を行う際には係員に提示してください。
- ② 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後10分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ③ 携帯電話等の電子機器類を持参した場合は、アラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中、身につけていたり手に持っていた場合は、不正行為となることがあります。
- ④ 不正行為を行った場合は以後の受験は認められません。
- ⑤ 試験時間中はすべて試験監督者の指示に従ってください。

## 5. 合格者の発表

令和4年2月10日(木) 15時(予定)

秋田大学ホームページ内「入試情報」に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書および入学関係書類等を送付します。

ホームページへの掲載は、情報サービスの一環として行っておりますので、必ず合格通知書で確認してください。

注) 電話による問い合わせには一切応じません。

## 6. 配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

病気・負傷、身体障害および発達障害等の心身の機能の障害（以下、「障害等」という。）により、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願に先立ち、本学部所定の用紙に必要事項を記入の上、医師の診断書等を添えて、令和3年12月8日(水)までに本学入試課に相談してください。日常生活においてごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合や期限後に不慮の事故等により、受験上の配慮が必要となった場合には、速やかに相談してください。

また、障害等の程度によっては、事前の準備が必要となる場合がありますので、本学への出願を迷っている場合でもあらかじめ相談いただき、進路決定等により特別措置が不要となった場合には、その旨本学入試課までお知らせください。

なお、事前相談の内容等が合否判定のための資料になることはありません。

○相談先 秋田大学入試課 電話：018-889-2313 E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

## 7. 入学手続

合格者には入学手続書類を郵送しますので、令和4年2月17日(木)～2月18日(金)(必着)までに、入学料を納付するとともに、入学手続書類を郵送により提出してください。

納付金

- ①入学料 282,000円(予定額)
- ②授業料 前期分 267,900円(年額535,800円)(予定額)

- 注) 1. 上記納付金は予定額であり、入学前に入学料が改定された場合には、改定時から入学希望者全員に新入学料が適用されます。また、入学時または在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。授業料は入学後に納入してください。
2. 納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

## 8. 個人の試験成績の開示

受験者の試験順位を本人の申し出によって開示しますので、下記の申込期間内にお申し込みください。申込みの際、本学の受験票が必要となります。

ただし、不合格者が3名未満の場合は開示しません。

- (1) 申込期間 令和4年5月1日(日)～令和4年6月30日(木)
- (2) 申込方法 本学ホームページ (<https://www.akita-u.ac.jp>) 「入試情報→成績開示について」をご覧ください。

## 9. その他

- ① 総合型選抜による選抜方法は理工学部が求める学生像に適した資質を問う選抜なので、合格者数は募集人員に満たない場合があります。その場合の欠員は理工学部が実施する今後の選抜試験の募集人員で充足します。
- ② 総合型選抜の合格者は、原則として入学辞退は認められません。  
ただし、特別の事情により入学を辞退する場合は、入学手続日までに本学の許可を得なければなりません。
- ③ 総合型選抜の合格者が入学手続を完了したときは、本学および他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。
- ④ 総合型選抜の合格者が、入学手続期間最終日までに入学手続を完了しないときは、総合型選抜合格者としての権利を失います。さらに、本学または他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者とはなりませんので、入学または入学辞退のいずれの手続も行わないままとすることがないように注意してください。
- ⑤ 入学料・授業料は高等教育の修学支援新制度に基づいて免除される制度があります。(高等教育の修学支援新制度については、文部科学省および日本学生支援機構のHPを参照してください。) また、経済的理由等により期限までに入学料の納付が困難であると認められる場合には、選考の上、猶予が認められる制度があります。(詳細は入学手続関係書類でお知らせします。)

## 10. 理工学部総合型選抜に関する問い合わせ先

秋田大学入試課

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 電話 018-889-2313

E-mail : nyushi@jimu.akita-u.ac.jp

## 検定料の免除について

災害救助法が適用される自然災害により被災された方々の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、検定料免除の特別措置を講じます。

検定料の免除を希望される方は、出願前に必ず本学入試課までご連絡ください。

### (1) 対象者

自然災害により災害救助法の適用を受けた地域において被災し、次のいずれかに該当する方

- ① 学資負担者が所有する自宅家屋の全壊、大規模半壊、半壊、流失の被害を受けた方
- ② 学資負担者が災害により死亡または行方不明の方
- ③ 学資負担者の居住地が福島第一原子力発電所事故により、警戒区域または計画的避難区域等に指定された方

### (2) 申請の方法

事前に本学入試課に連絡し、該当すると判断された方は、所定の申請書類を(4)の申請期限までに提出してください。提出の際には、封筒の表に「検定料免除申請書在中」と朱書きし、返信用封筒（長形3号，84円切手貼付，住所・氏名記入）を同封してください。

なお、この申請を行う場合は、出願時に「検定料」を払い込まないでください。

### (3) 申請書類及び証明書

- ① 申請書類
  - ・「検定料免除申請書」（別紙様式）（本学ホームページ「入試情報」内にある「検定料免除」からダウンロードできます。）
- ② 証明書
  - ・「り災証明書」（上記（1）の①に該当する方）
  - ・「死亡または行方不明を証明する書類」（上記（1）の②に該当する方）
  - ・「被災証明書」（上記（1）の③に該当する方）

### (4) 申請期限

・総合型選抜Ⅰ（出願資格A・B） 令和3年8月24日（火） ・総合型選抜Ⅱ 令和3年12月8日（水）

### (5) 許可または不許可の通知

- ① 許可された方には、出願受付期間前までに「決定通知書」を送付いたします。願書の提出に当たっては検定料を納付せず、送付された「決定通知書」を「検定料振替払込受付証明書貼付台紙」に貼って提出してください。
- ② 不許可の方には、出願受付期間前までに別途通知いたします。願書の提出に当たっては、検定料を納付の上必要な手続をしてください。

検定料の納付がない方の当該入学者選抜試験に係る出願は受理しません。

### (6) その他

諸事情により、申請期限までに申請書類および証明書が提出できない場合は、一旦検定料を納付した上で、願書を提出してください。

\* 検定料免除に関する問い合わせ先：秋田大学入試課 電話 018-889-2256

## 秋田大学学生寮について

入寮案内の請求期間、申し込み期間等に関する詳細は大学ホームページ（<https://www.akita-u.ac.jp>）でお知らせします。

\* 学生寮に関する問い合わせ先：秋田大学学生支援・就職課 電話 018-889-2240

# 令和4年度秋田大学工学部総合型選抜Ⅰ（出願資格A）・総合型選抜Ⅱ 「個別の入学資格審査」について

学校教育法施行規則第150条第7号による「大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達したもの」として本学へ出願を希望する者は、事前に本学の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願できることになります。

令和4年度工学部総合型選抜Ⅰ（出願資格A）・Ⅱに関する入学資格審査は、次のとおり実施します。

## 1) 個別の入学資格審査を申請できる者

本学へ入学する意志があり、令和4年3月31日までに18歳に達し、本学の指定する書類を提出できる者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校に対応する学校の課程（当該課程を合わせて学校教育における12年の課程を有していることが認められるもの）に在学した者または在学している者
- (2) 上記(1)以外の者で、各種の学校等での学習歴および社会での実務経験等（資格取得を含む）が、高等学校卒業と同等以上であると客観的に確認できる者

## 2) 申請受付期限

・総合型選抜Ⅰ（出願資格A） 令和3年8月10日（火）（必着）      ・総合型選抜Ⅱ 令和3年11月25日（木）（必着）

## 3) 申請書類

審査を希望する者は、秋田大学入学資格認定申請書〔別紙様式〕に次の各号の区分毎に掲げる書類を添えて、本学に申請してください。

### (1) 上記1)の(1)による申請者

- ア 修業年限および学年・学期に関する事項が記載された書類
- イ 課程の組織に関する事項が記載された書類
- ウ 教育課程および授業日数に関する事項が記載された書類
- エ 学習の評価および教育課程修了の認定に関する事項が記載された書類
- オ 入学および卒業に関する事項が記載された書類
- カ 当該申請者に係る教科・科目の履修状況の証明書

### (2) 上記1)の(2)による申請者

- ア 学校教育における9年の課程修了後の公的な教育施設における学習歴を証明する書類
- イ 社会での実務経験等（資格取得を含む）が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類

## 4) 審査方法

申請書類により審査を行います。申請書類の不備や疑義等がある場合は、期間を定めて当該申請書類の補正を求め、それが満たされないときは審査を拒否することがあります。

## 5) 審査基準

- (1) 上記1)の(1)による申請者については、当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であることを審査します。
- (2) 上記1)の(2)による申請者は、学習歴および社会での実務経験等（資格取得を含む）について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。

## 6) 認 定

審査の結果、入学資格を認める場合は、申請者に対して秋田大学入学資格認定書を交付します。  
入学資格を認めない場合は、申請者に対してその理由を付して通知します。

## 7) 認定の取消

申請者が高等学校に対応する学校の課程の修了見込みまたは学習歴もしくは実務経験等の終了見込みで申請した場合であって、その要件が満たされない場合は、入学資格認定を取り消します。

## 8) 申請書類の提出方法および提出先・照会先

申請書類を郵送する場合は、簡易書留郵便とし封筒のおもて面に「入学資格認定申請書在中」と朱書きしてください。  
また、返信用封筒（長形3号、簡易書留速達料金694円分の切手を貼付し、あて先を明記したもの）を同封してください。  
（持参の場合も返信用封筒を提出してください。）

なお、審査を申請するに当たっては、事前に入試課に照会願います。

〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号  
秋田大学入試課  
（電話 018-889-2313）

[別紙様式 A4判]

## 秋田大学入学資格認定申請書

令和 年 月 日

秋田大学理工学部長 殿

(ふりがな)  
申請者氏名 (男・女)  
(自署)  
生年月日 年 月 日 生

私は、令和4年度理工学部総合型選抜を受験したいので、必要書類を添えて入学資格の認定を申請します。

記

出願希望コース： \_\_\_\_\_

申請者住所： 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

電話番号： \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_